

第10回つながるスマイルプロジェクト アンケート結果

「物価高騰の今こそ
フードバンクで支えあおう」

アンケート調査 報告書

2023年5月

認定NPO法人フードバンク山梨



この調査は「中核的フードバンクによる地域包括支援
体制事業」の助成を受けています

背景と 今後の取り組み

認定NPO法人フードバンク山梨
理事長 米山けい子

この度の食料支援対象者へのアンケート調査は、コロナ禍における物価高騰という困難な状況に直面している利用者の視点からその影響を明らかにする貴重なデータとなりました。

アンケート調査からは、コロナ禍と物価高騰が人々に深刻な影響を与えていることが明らかになりました。特に、母子家庭で非正規雇用者は、より多くの困難な状況に直面していることが浮き彫りになりました。世帯収入が15万円未満の家庭では33%が1ヶ月の食費が3万円未満であり、さらに49%が食事の回数を減らすことを余儀なくされています。

世帯収入が15万円未満の世帯が60%で前回（2022年11月）の調査64%と変わりませんでした。しかしながら、節約しても倍増した電気代や76%の世帯が賃上げの恩恵を受けていないことを考慮すると、収入が変わらないまま支出が増えるという生活が成り立たない状況が示唆されています。

母子世帯は全体の79%に上り、働いているにもかかわらず、生活が苦しい「ワーキングプア層」の実態が明らかになりました。また、正規雇用者であっても困窮する可能性があることが示唆されており、経済的な不安定さに苦しんでいることがうかがえます。

調査結果は、相対的貧困層の世帯とそうでない世帯の格差が広がっている事を示しています。特に母子家庭など貧困に陥りやすい人々への再分配が必要とされています。

現実をまず知ることが対策への近道となる事を考えると、この度の調査結果は、特に、低所得者や非正規雇用者、ひとり親などの人々にとって、より効果的な支援策が必要であることが明らかになりました。

フードバンク山梨はこのアンケート結果を受けて、6月に1500世帯を目標に生活困窮世帯へのさらなる食料支援を実施します。県内各地でフードバンク活動を行う7つの団体（予定）と協力し、無料で食品を提供します。

対象とする
世帯

- ①2023年にフードバンク山梨の子ども支援・行政等を通じた食料支援を利用していない世帯
- ②児童扶養手当受給/住民税所得割非課税給付型奨学金を受給する学生

調査の 概要

1. 調査の目的

物価高騰が続く中での生活状況を調査し、今後の支援にいかす

2. 調査について

① 調査対象

当法人が2023年3月24日・25日に行った
「第10回つながるスマイルプロジェクト」で支援を受けた132世帯

② 調査方法と回収状況

会場においてアンケート票に記入してもらい、回収

③ 調査期間

2023年3月24日・25日

④ 回収状況

調査世帯数132 回収数116 回収率 87.8%

調査の 要点

不安定な雇用・低賃金の暮らし。
物価高騰が直撃し、あらゆるものの節約を強いられるなか
食費は「1食110円」まで減っている

**「非正規雇用」は60%を占め、「正規雇用」は17%
「失業」は“10人にひとり”に上る**

一般的に、正規雇用の場合は生活困窮に陥るリスクが低いとされるが、正規雇用でも経済的に困窮する場面があることが分かった。

さらに「失業」の回答も目立つ。

山梨県労働局の令和5年2月発表によると、有効求人倍率は1.45倍で前月と同水準であるが、正社員有効求人倍率は0.96倍とされる。

より安定した正規雇用の働き口を探しても、厳しい状況がうかがえる。

**上がる物価、増えない所得
ますます追いつめられる生活**

**賃金は「変わらない」が76%。
1か月の世帯収入15万円未満の世帯が全体の6割**

今年の春闘では物価高騰のなか、賃上げの必要を労使双方が認識した結果、賃上げムードが高まり、高い水準の回答が相次いだと報道されている。

しかし今回の調査では、賃金は「変わらない」が76%と最も多い結果となった。2%の「上がった」人でも、上昇した金額は平均48円であった。

**電気料金の異常な値上げに、
日々の節約は追い付かず**

**電気料金の請求額は「値上げ前」の1.9倍となり、
負担額はほぼ倍増**

値上がりしている品目の中で生活に影響を及ぼすものを選ぶ設問では「電気料金」が最多だった。前回アンケートで最多であった「ガス料金」と、次ぐ「ガソリン」は今回も同様だが、最上位は「電気料金」に入れ替わり、最も負担が増していることを示している。

電気料金の請求額は「値上げ前」の1.9倍となっており、負担は倍増している。

アンケートを実施した時期はまだ寒く、暖房を使用する機会も多かった。しかし「利用者へのインタビュー」のように、暖房のみならず他の電気の使用を控えるよう努めても、電気料金の上昇を抑えることはできていない。

**1食に110円しか割くことができない
健康を脅かす危機的な状況**

**1日一人当たり食費平均330円。
前回調査（22年9月）の384円を13%下回った**

収入が増えない一方で物価は高騰を続け、一人あたりの食費は333円/日となった。前回調査の384円を下回る結果である。

回答者の約半数が、食費を節約するために食事の回数を減らすと回答。

「子どもには食べさせるが母のみ『食事の回数を減らす』『食事の量を減らす』」といった記述も見られた。

働いても、家族が食べる十分な食料が買えないために、自分の食べる分を子どもに回さざるを得ない深刻な状況が明らかになった。

利用者への インタビューから

衣食住すべてを切り詰める。
「乗り切れないものはない」と
自分を奮い立たせる日々

山梨県内で
2人の子どもを
一人で育てる女性

託児の仕事に掛け持ちし、さらに飲食店でもアルバイト。 家計を支えるためトリプルワーク

以前はフルタイムの保育士として働いていた。
仕事にやりがいを感じつつも、給料が少なく、家計をまかなうには足りなかった。ひとり親になり、子どもたちの学校行事などには自分が参加しなければならない。フルタイムよりも融通がきくと考え、パートで働くことを選択した。
現在は、フリーランスで託児を請負う傍ら、介護施設職員用の託児所でもパートで働き、さらに飲食店のアルバイトもこなす。
休みは日曜だけ。
月の手取りは10万円。就学援助も利用するが満額は支給されず、家計は常に切迫している。

暖房は「こたつだけ」。 電気を使わずに乗り切った冬、それでも1.5倍の請求が

この冬は生活インフラを始めあらゆる料金が値上がりし、長男の入学準備と重なり大変だった。
特に電気代の節約に苦労した。冷蔵庫の設定温度を「低」から「中」に緩めたり、意識して消灯を早めたりしたが、どの程度効果があっただろう。
自宅の暖房器具は、リビングのこたつのみ。電気料金が安いと聞いて、年頃の息子は親と同じ部屋にいるのを嫌がる。別室にエアコンはあるが使わず布団にくるまるように言い、なんとか寒さをしのいだ。暑い時期は冷房を使わざるを得ないだろうし、電気代が心配だ。

自分の分は無くてもいい。 子どもはおなか一杯にさせたい

成長する息子たちが食べる量は月を追うごとに増え、値上げも伴い食費は増す一方。スーパーでの買い物は値引きの時間帯に済ませる。子どもたちの食事は栄養バランスに気を付け、おなかがいっぱいになるだけ食べさせるが、自分は食べずに済ませたり麺類など汁気がかさ増しできるものを食べたりしている。

くらしに余裕はないが、 子どもの可能性は狭めたくない

ガソリン代を抑えるために、遠出はしない。レジャーや旅行にも行けない。昨年、支援団体の企画でテーマパークへ行ったことが久しぶりの「お出かけ」だった。
家族の髪は自分が切って理美容代を浮かせるが、息子が美容室に行きたいと言い出す日も近いと感じる。そんな長男が自ら希望し、塾に通い始めて数年が経つ。中学生になり月謝が上がったが、将来につながることだと思うので、できるだけ希望はかなえてあげたい。

「一番大変な時より今の方が」。 自分に言い聞かせ、踏ん張る毎日

何もかも切り詰める毎日で、フードバンクの食料支援が本当にありがたい。
コロナ禍では、アルバイト先の飲食店が閉店するという思わぬ影響もあった。
当時を考えれば、今、なんとかやっている。
「乗り切れないものはない」と自分を奮い立たせ、毎日を精一杯暮らしている。

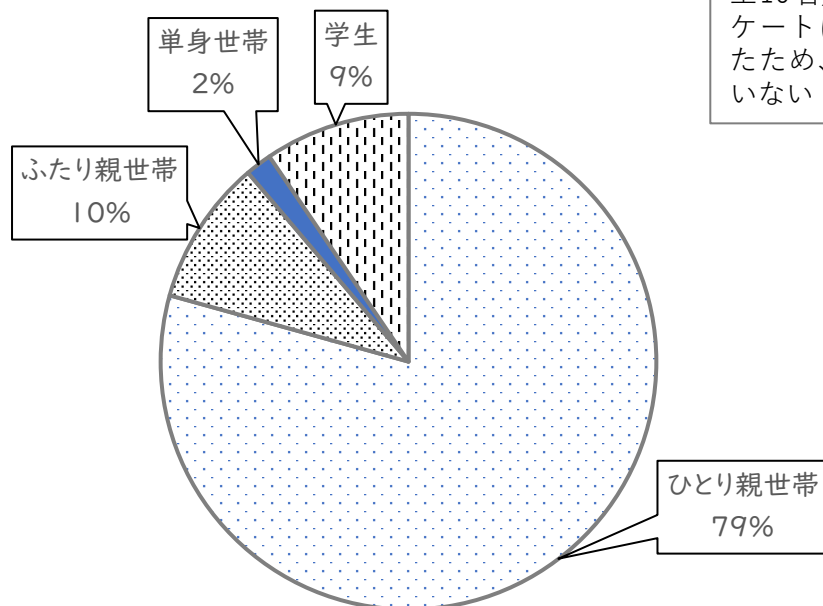
女性の1か月の家計

各種生活費	値上がり前	現在
食費	10,000	12,000
電気代	4,000	6,000
ガス代	3,500	5,000
水道代(2か月分)	4,000	5,000
ガソリン代	7,500	9,000
給食費	0	0
塾の月謝	10,000	12,000
	39,000	49,000

* 給食費は2学期から支払いが発生する見込み

1.回答した世帯の属性(回答数116)

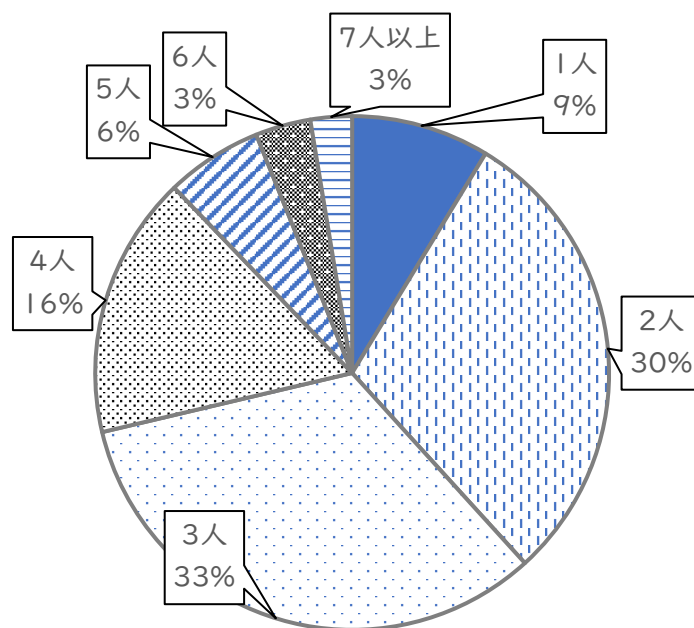
「ひとり親世帯」が最も多く、全体の79%であった。



学生は21名（うち外国人留学生10名）を支援したが、アンケートは日本語で作成していたため、この10名は回答していない

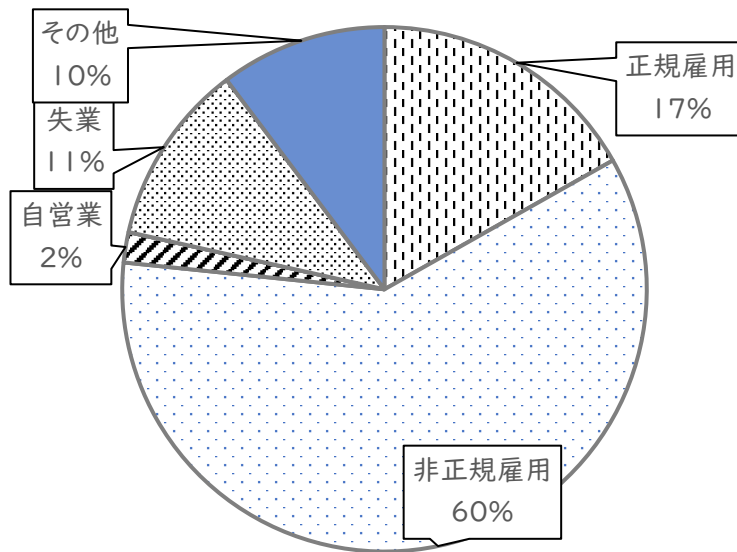
2.世帯構成人数(回答数115)

もっとも多い世帯人数は3人で33%であった。



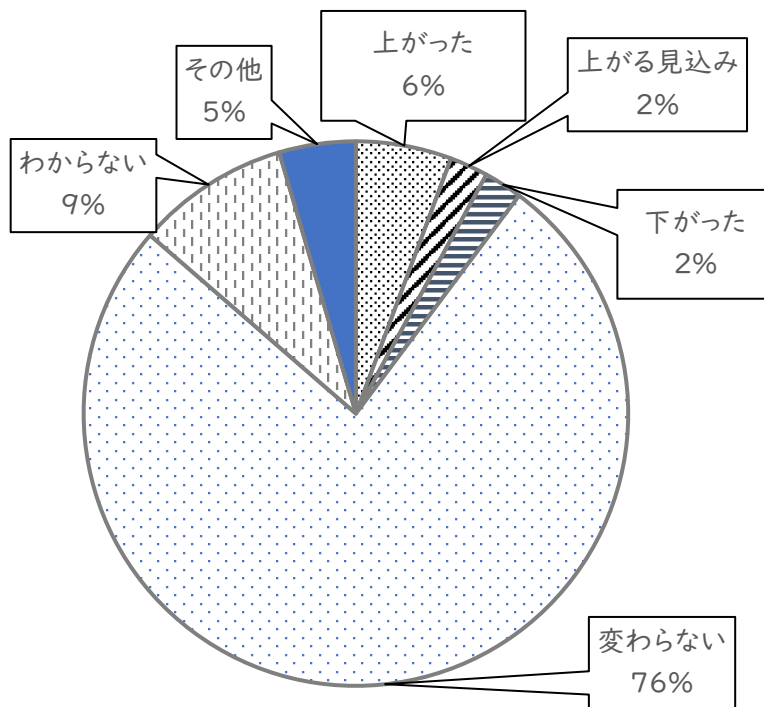
3.雇用形態(回答数107)

「非正規雇用」が60%と最も多く、「失業」の回答も11%を占めた。



4.賃上げが報道されていますが、あなたの賃金に反映されていますか。(回答数88)

「変わらない」が76%と最多。「上がった」と答えた方でも、上昇した金額は平均48.7円であった。



2023年春闘での大手企業の回答

企業名	引き上げ金額
トヨタ	4,670円~9,370円
本田技研	19,000円
マツダ	13,000円
パナソニックグループ労連	7,000円
日立グループ連合・日立製作所	7,000円

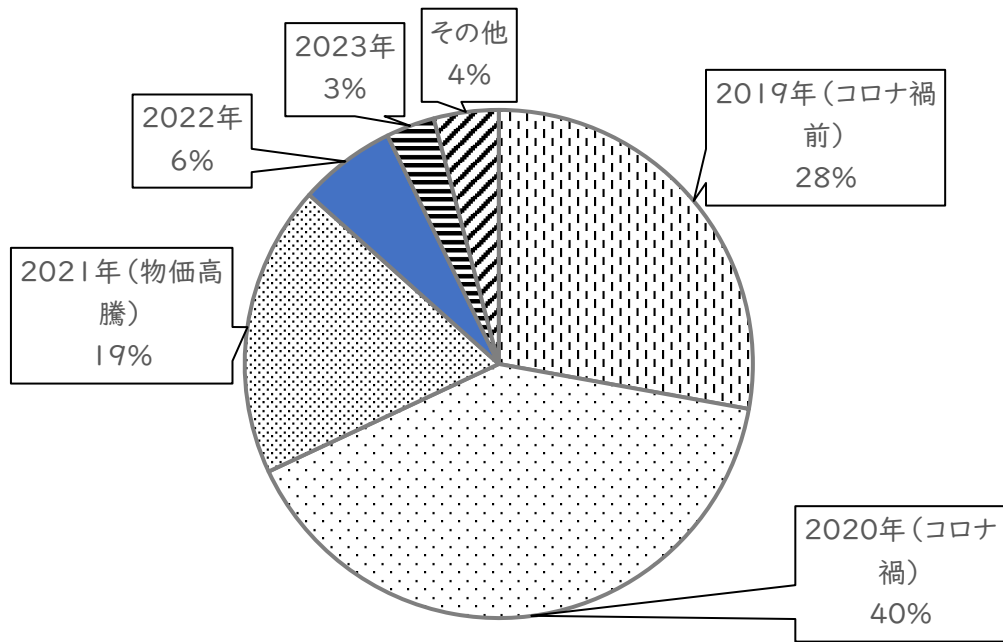
* 連合HP「回答速報 No.17 (全共闘連絡会議)」より

物価上昇が続くなか、今年の春闘では労使が互いに賃上げの必要を共有し、高い水準の回答が相次いだと報道されています。ところが非正規労働者の給与には、この動きは反映されにくい状況であることがわかりました。



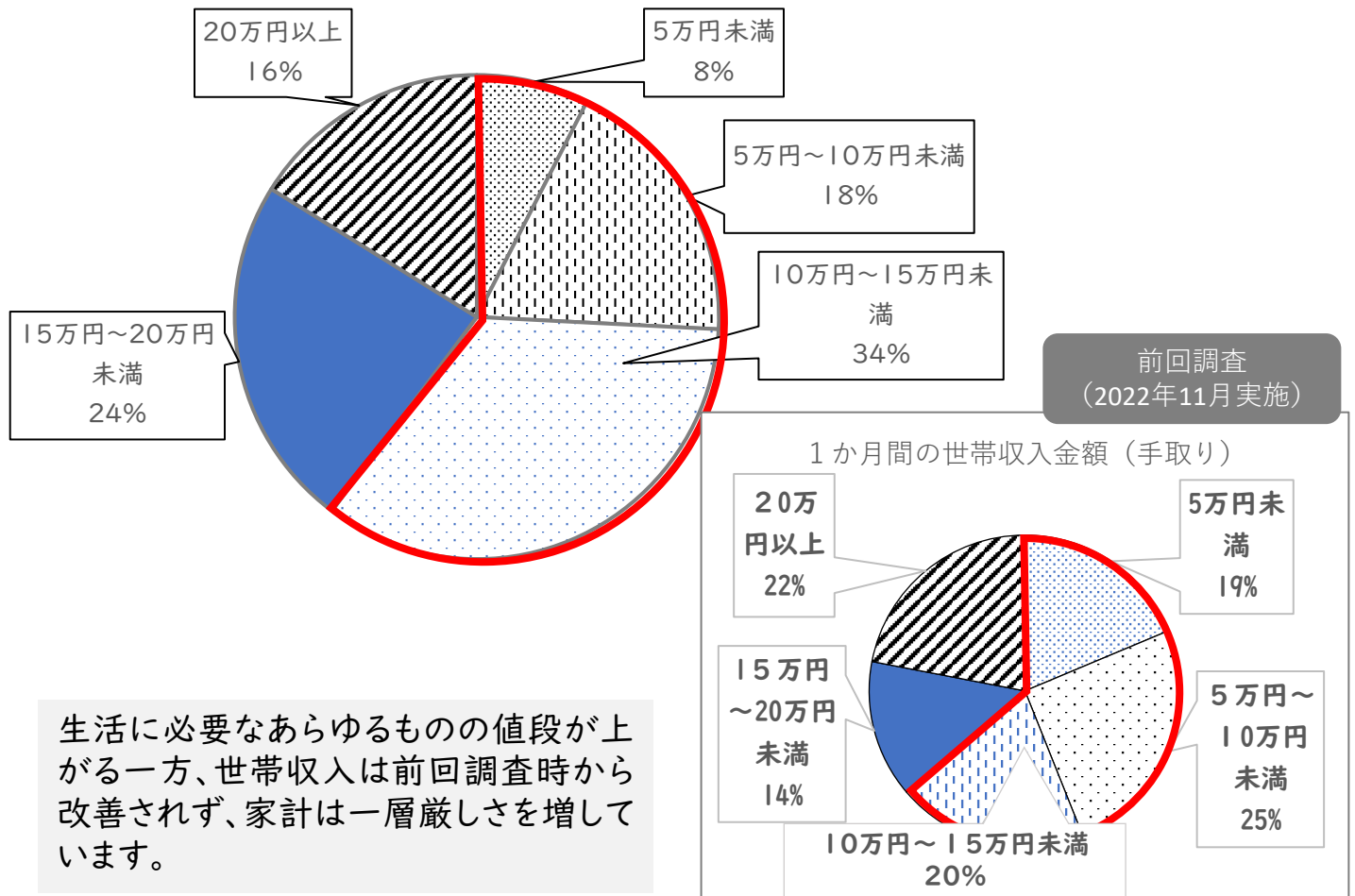
5.生活が苦しくなったのはいつからでしょうか。(回答数97)

2020年(コロナ禍)からと答えた方が40%と最も多く、次いで2019年(コロナ禍前)28%であった。



6.ここ3か月の平均で、1か月間の世帯収入金額(手取り額)はいくらでしょうか。(回答数114)

1か月の世帯収入が15万円に満たない世帯が全体の60%であった。



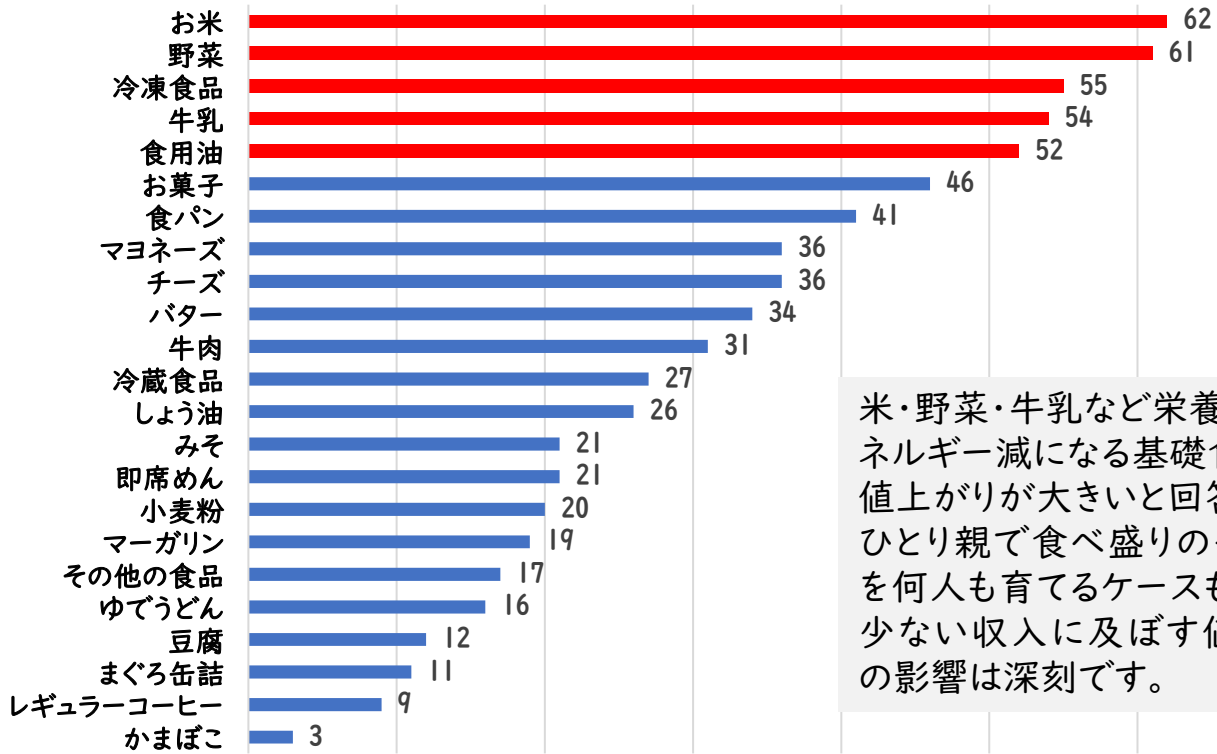
生活に必要なあらゆるものの値段が上がる一方、世帯収入は前回調査時から改善されず、家計は一層厳しさを増しています。



7.食品や生活必需品などが値上がり。値上がりしている物の中で、回答者の生活に影響している物は何か（重複回答、回答数1162）

7-1. 食品（回答数710）

お米が62と最も多く次いで野菜が61でいずれも回答が60を超えた。

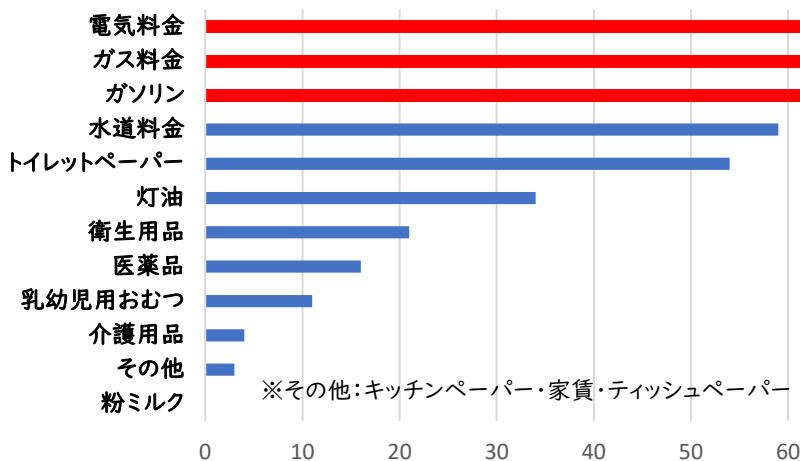


米・野菜・牛乳など栄養源・エネルギー減になる基礎食品の値上がりが大きいと回答。ひとり親で食べ盛りの子どもを何人も育てるケースも多く、少ない収入に及ぼす値上げの影響は深刻です。

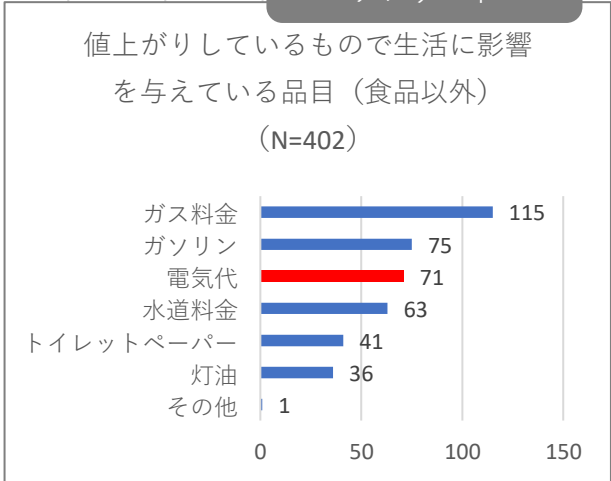
※その他：・玉子・納豆・しらす・プロテイン・サプリメント

7-2. 食品以外（回答数455）

電気料金が95と圧倒的に多く、次いでガス料金、ガソリンと続いた



2022年11月実施
アンケート



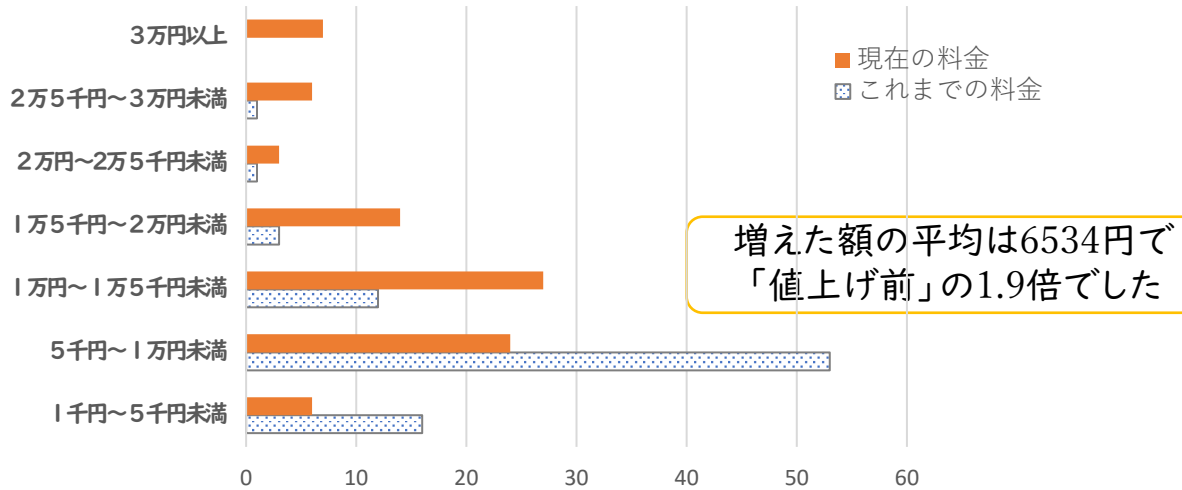
昨年11月の回答との比較では、生活インフラのなかでも電気代の負担が顕著に増大。「電気料金の値上げの影響」を問う設問では「かなりある」「ややある」が98%を占めました。



8. 1カ月の電気料金について、「これまで」の料金と現在の料金（回答数85-87）

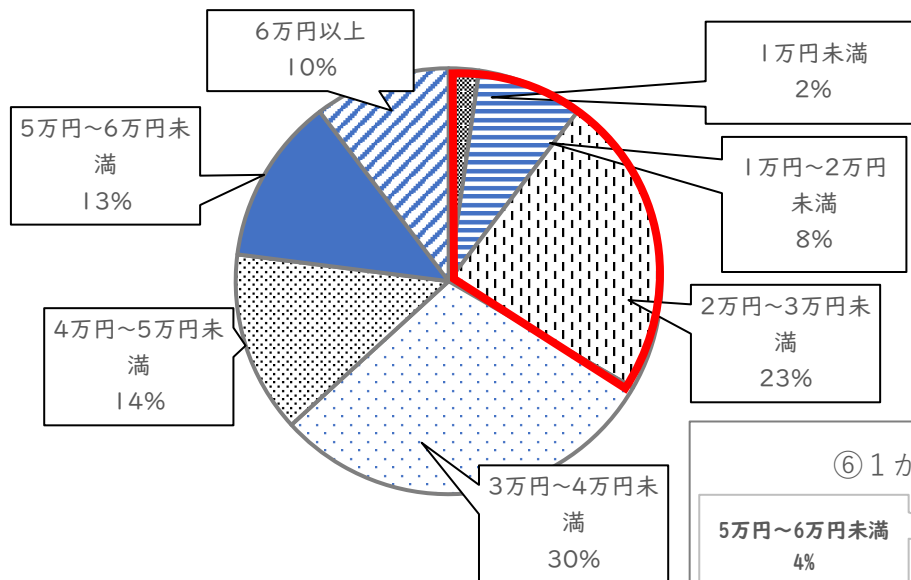
現在と「これまで」（値上がりする前）の料金を比較すると、値上がり前は「5千円～1万円未満」が最も多かったが、現在は「1万円～1万5千円未満」が最も多くなり、全体的に電気料金が上昇していることが分かった。

電気料金「値上げ前」と現在の比較



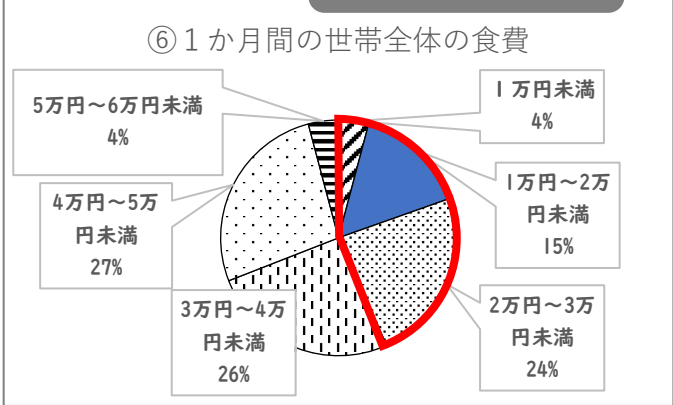
9. ここ3か月の平均で、1か月間の食費に係る金額（回答数87）

33%が、ひと月の食費を「月3万円未満」と回答。1日あたり千円に満たない。回答者の世帯人数の合計を回答者数で割った平均世帯人数「3人」に当てはめると、一人あたりの食費は1日333円以下となった。



2022年11月実施アンケート

生活に必要なあらゆるものの値段が上がる一方、一人一日当たりの食費は前回調査時の「384円」を下回り、悪化しています。生活状況は改善されないまま、悪化し続けていることがわかります。

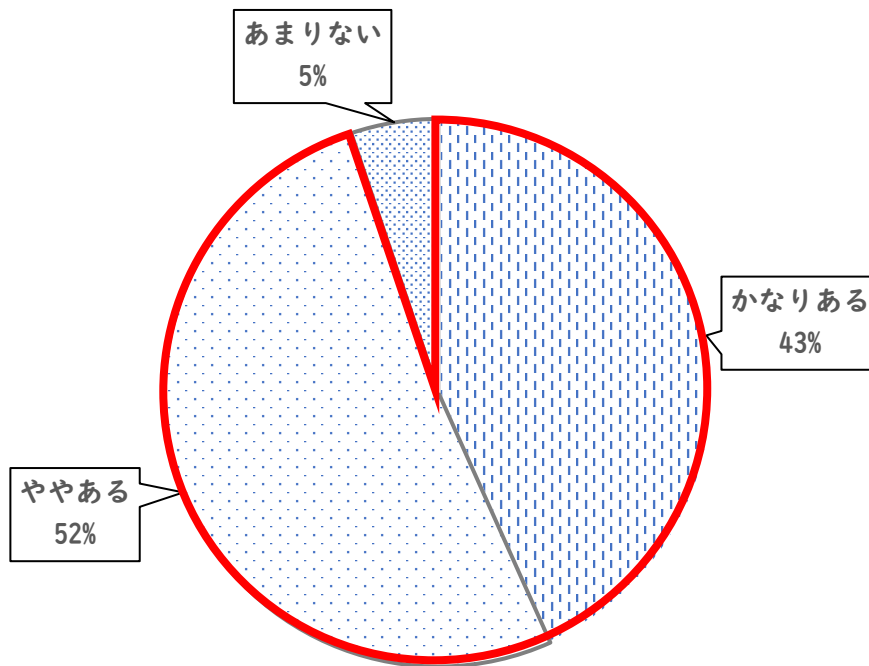


平均世帯人数(2.6人)で割ると、一人一日当たりの食費は384円以下となった。



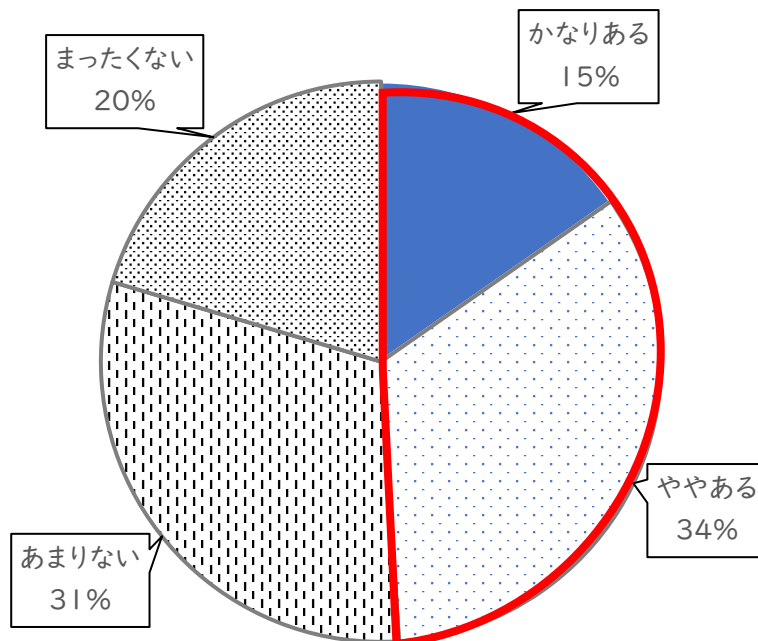
10.節約のために食費を削ることはあるか(回答数97)

「かなりある」、「ややあるが」全体の95%で、節約のために食費を削っている。



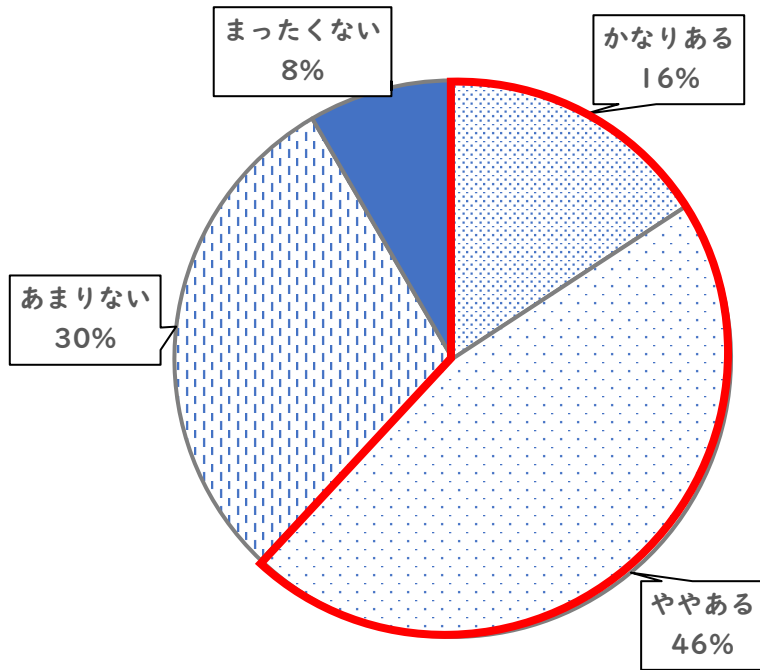
11.節約のために食事の回数を減らすことはあるか(回答数98)

「かなりある」、「ややある」が全体の49%で約半数であり、節約のために回数を減らしている。



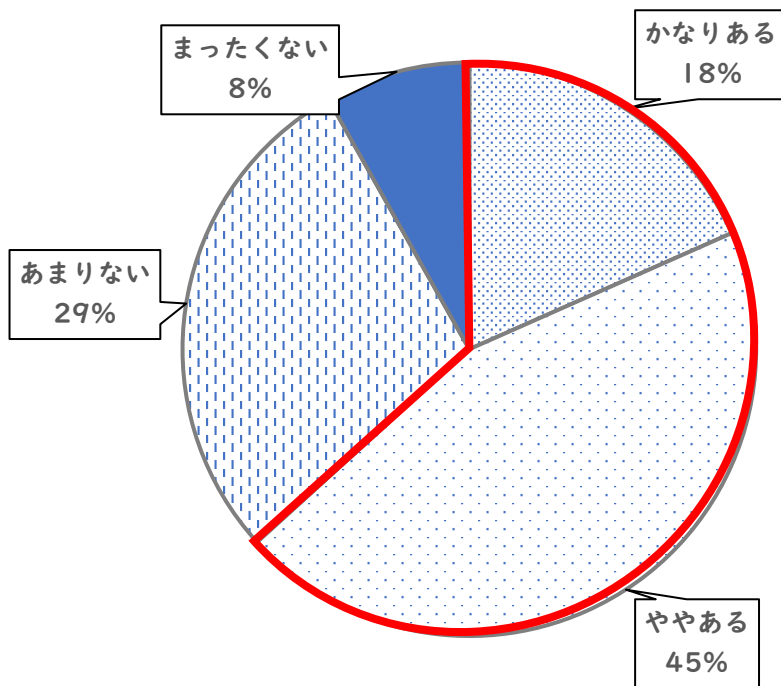
12.節約のために一回の食事の量を減らすことがあるか(回答数95)

「かなりある」、「ややあるが」全体の62%で、節約のために食事の量を減らしている。



13.節約を意識することで食事の内容に変化はあるか(回答数98)

「かなりある」、「ややある」が全体の63%を占め、節約を意識することで食事の内容を変えている。



変化の内容について

炭水化物だけの食事が増えた	31
おかずが減った	68
インスタント食品が増えた	30

【その他】

- ・かさましてできる食品を使っている
- ・子どものおかしや食品を節約している
- ・野菜・果物が減った

【自由記述より】

- ・子どもたちをおなか一杯にしたいので、子どもには食べさせますが、自分は「食事の回数を減らす」「食事の量を減らす」はよくある。
- ・働いても給料が上がるわけでもなく、いつも赤字の中やっています。色々ありがとうございます。いつも助かっています。
- ・もともと生活が苦しい上に、物価の高騰、電気代が上がったことによりさらに生活が厳しい状況です。ですので、フードバンク様の支援活動にいつも助けられています。今回も多くの支援本当にありがとうございました。
- ・たくさんありがとうございます。大事にいただきます。食費や、電気・ガス・水道・全て上がっていて生活がきびしい。お米の1世帯あたりの受け取り量を増やしていただけたらとてもありがたいです。玉子の値上がりが高く、卵の配布などあればありがたい。
- ・困っていることをなかなか言う人・場所がなく、1人で悩んでしまうことがあります。気軽に相談や支援の情報を聞ける場所がわかるとうれいです。
- ・子どもの学習面、参考書が買えない、塾に通わせられない、何もかも値あがってしまうのに収入は変わらない。
- ・食品の値上がり、水道光熱費の値上がりが一番生活にひびいています。子どもが学校で使う消耗品や衣服、くつなどすぐサイズオーバーになってしまうので厳しい時があります。
- ・物価高騰で、ガス、電気代が上がったり食品なども値上がりして困っています。こういった支援がとても助かります。服とか下着がサイズアウトしているのに買ってあげられなくて小さいけど着せていることも少しあります。

以上

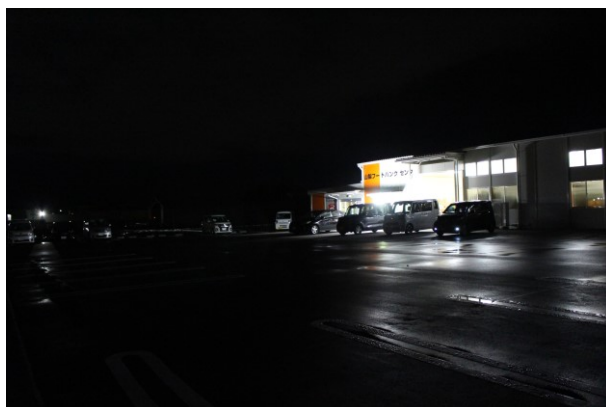
配布当日の様子



子どもを連れたひとり親の女性が多くみられた



男性や夫婦のみの世帯も



仕事帰りに受け取りたいとの要望に応え、
夜7時まで配布を実施



奨学金を受給する外国人留学生が食品を受け取りに